

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスえがお		
○保護者評価実施期間	R7年 10月 1日		～ R7年 10月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	R7年 10月 1日		～ R7年 10月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫できている。通信やSNSにも定期的に公表しています。	イベントやとりくみ内容を定期的に見直し、楽しみながら学んだり、体操できる環境を提供しています。	利用者が楽しめるプログラムの検討。公共施設や公園など地域交流への参加。
2	子ども達が通所を楽しみにしてくれている。安心感をもって通所できている。	楽しみながら、学んだり、体操できる環境を提供しています。スタッフのレベルアップの為、日々支援の見直しを行っています。	スタッフの研修の充実(スキルアップ)。スタッフ同士の連携を強める。
3	日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	日頃から送迎時や電話でデイや家庭での利用児の状況を情報共有している。	日々の積み重ね(挨拶、丁寧な受け答え、迅速な対応など)を大切にする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族が参加できる研修会が行えていない。	日頃の支援の準備等で時間が作れていない。	外部の研修会の案内や事業所主催の研修会の検討をしている。
2	保護者同士の交流の機会や兄弟同士の交流の機会を設けられていない。	日頃の支援の準備等で時間が作れていない。	家族が参加できるイベントの企画。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後デイサービスがお

公表日 令和7年10月31日

利用児童数 令和7年10月31日

回収数

7人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4			3		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3		2	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	2	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	1	2	3		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	2		1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービスえがお				公表日	令和7年 10月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		体操やダンス等、身体を動かす時は、机の移動をして、広く行動できるようにしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		多めに配置できるように努めています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		階段に手すりをつけたり、段差をなくすように配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		使用した物の消毒や空気清浄機の使用や換気も定期的に行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		必要に応じて対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		毎月会議を行い、なるべく多くのスタッフに参加してもらっています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		職員で会議を行い、周知、改善案を話し合う機会を設けています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		朝礼で意見を聞き取り、対応策を話し合う機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9			第三者による評価を検討していきます。	
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		3ヶ月ごとに行っています。必要な時は、その都度行っています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		毎月、通信を発行し、全利用者に配布しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		アセスメントを聞き取り、それを元に作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		会議を行い、スタッフの意見を聞き、作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援内容は、職員で共有し、どのような支援をするか朝礼で話し合っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		標準ツールを使用していますが、必要に応じてツールの改善をしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		本人の特性を把握した上で、自立にむけた支援を考え作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		チームで行っています。		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		定期的に見直しをし、様々なプログラムを検討しています。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		1日のプログラムに個別活動と集団活動を取り入れ、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼を毎日行い、当日の支援内容の話し合い、役割分担の確認、共有をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援終了後に、その日の出来事を振り返り、気付きを共有、日誌に記入しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		児童一人ひとりの様子を日々記録し、会議で話し合いを行い、支援の見直しや改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリング、個別支援計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		自立や日常生活の充実のため、学習、工作、絵画、公園、おでかけ、歌、体操、読み聞かせ、レクリエーション等を組み合わせ支援をしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		プログラム活動や遊びを通して、自己選択や自己決定ができるように工夫して支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		担当者会議などに、児発官や担当職員が参加し意見交換や情報共有をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		各関係機関と連携し、担当者会議の参加や情報提供や収集ができるように努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		日々の送迎時や電話などで、情報共有と連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		就学前の様子をお聞きしたり、支援の内容などの情報収集ができるように努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		卒業前に会議へ参加し、当事業所での支援内容や様子などを細かくお伝えしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		必要に応じて相談・助言・研修を受けていきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		公園や図書館、公共施設を利用し、地域の他の子ども達と活動する機会を作っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		機会があれば参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		毎日送迎時に事業所での児童の様子をお伝えしたり、連絡帳でお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			外部の研修会の案内や事業所主催の研修会の検討をいたします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に重要事項説明書などを用いて、利用負担額やプログラム、送迎、運営規程の事などの説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者の方が気軽に相談できるように、送迎時やお電話できるように連絡体制を整えております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		送迎時に説明し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		随時相談できる体制を整えています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9		家族で参加できるイベントの企画を検討いたします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情窓口を設置しており、契約時にご説明させて頂いています。苦情があった際は迅速に対応させて頂いています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月、通信を発行し、全利用者に配布しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きの書庫に保管しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		障害の特性に合わせた配慮を実地しています。絵カード、筆談、見通しなどの支援をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	地域の方と交流できるように、公園、図書館、お買い物、おでかけなどを実地しています。	地域住民との交流を検討いたします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各種マニュアルを策定し、職員全員に研修や避難訓練で周知しています。保護者様にもマニュアルの内容を周知してもらえるようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		業務継続計画（BCP）を策定し、研修と委員会を開催しています。定期的な避難訓練の実地もしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		アセスメントでの聞き取りの際にしております。また、職員間で情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		アセスメントでの聞き取りの際にしております。また、職員間で情報共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を策定し、計画通り屋内の安全管理や屋外の安全確認、避難訓練、研修、話し合いなどを通して、安全に支援できるように努めています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		各種マニュアルを保護者様に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		会議の際に、ヒヤリハット報告書を振り返り、再発防止に努め、職員全員に情報共有をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止委員会を設置し、研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		身体拘束マニュアルを策定し職員全員に周知しています。また、研修時にやむを得ず行うことが認められる場合の確認を職員に説明しています。		